

## チェコ 12月の動き

### 政治・経済日誌

- 1日 ● 下院は以下の3種類のコロナ関連経済支援策を可決した：1) 個人事業主・小規模法人を対象とした補償ボーナス、2) 隔離の被雇用者を対象とした助成金、3) 休校の子供ケアのため欠勤する被雇用者を対象とした助成金
- 財務省によると、1～11月の財政収支は4,015億3,800万コルナの赤字で、赤字額は前年同期の3,414億8,700万コルナより増大した。
- IHS Markit社によると、11月の購買担当者景気指数（PMI）は57.1ポイントで、前月比の2ポイント上昇した。
- OECDはその最新経済見通しを発表、チェコのGDP成長率予測に関して、2021年は前回（5月）発表の予測値3.3%から2.5%に、2022年は4.9%から3.0%にそれぞれ下方修正した。2023年については3.9%と予測している。
- 3日 ● 自動車輸入者連盟によると、11月の乗用車（新車）売上台数は7.5%減の116,174台にとどまり、1～11月では1,190,668台で前年比4.4%増。1～11月の売上台数をメーカー（ブランド）別にみると、トップはシュコダ・オートで65,244台（5%減）、以下現代（18,514台）、フォルクスワーゲン（15,829台）、トヨタ（9,341台）、起亜（9,096台）と続いている。
- 6日 ● 内閣は、保健省が提出した、60歳以上および医療・福祉施設従事者、消防士、警察官など一定の職業に就く人々を対象にワクチン接種を義務化する省令案を承認した。但し次期内閣は、ワ

クチン接種義務化に反対しており、省令を破棄する意志を表明している（一定の職業につく人を対象にしたものに関しては、その業界の大変の指示が得られれば継続することも可能としている）。

- 統計局によると、第3四半期における平均賃金は37,500コルナで前年同期比5.7%増。インフレ率を差し引いた実質上昇率は1.5%であった。中間値は32,979コルナ（5.7%増）。平均賃金を部門別では、最高はITで約65,000コルナ、以下金融・保険（58,795コルナ）、電気・ガス（51,000コルナ）と続いている。最低はホテル・レストランで22,346コルナ。地方別では最高はプラハの45,523コルナ、最低はカルロヴィ・ヴァリの33,249コルナとなっている。
- 統計局によると、10月の小売売上（自動車部門を除く）は5.6%で、前年同月比5.6%増。前年同月比上昇率は9月の3.7%より増大した。前月比では+1.4%であった。一方自動車販売・修理部門は前年同月比8.7%減少した。
- 7日 ● 統計局によると、10月の貿易収支は輸出3,316億コルナ（前年同月比7.5%減）、輸入3,498億コルナで、182億1コルナの赤字。赤字要因はガス（前年比28%増）、原油（19%増）の輸入増と価格上昇、および自動車輸出の減少。
- 統計局によると、10月の工業生産（季節調整値）は前年同月比4.9%減。うち自動車部門は△32.9%。但し全部門の工業生産の前月比増大率は+0.9%なのに対して、自動車部門では+5.5%であった。
- 統計局によると、10月の建設工事は前年同月比+3.7%で、増大率は前月の

- +3.0%より微増。前月比では+0.4%。
- 8日 ●労働局によると、11月の失業率は3.3%で前月比0.1%減。前年同月比では0.5%減少した。州別では最低はパルドビツェ州の2.1%、最高はモラヴィア・シレジア、およびウースチー州の4.9%。プラハは2.8%であった。アナリストは、好天候およびクリスマス前の季節要素が11月低失業率の要因と指摘、冬季に一時的に上昇するとみている。
- 10日 ●統計局によると、11月の消費者物価上昇率は6.0%で、前月の5.8%より増大し、2008年11月以降最高を記録した。うち交通機関用燃料は32.8%増。  
●統計局によると、10月の燃料輸入価格は前年同月比124.2%、エネルギーの輸入価格は104.6%それぞれ上昇した。
- 13日 ●フィアラ首相は、ゼマン大統領との協議後の記者会見で、大統領が17日に内閣任命を行うことで合意したと発表。大統領は当初ヤン・リパフスキー外相候補（海賊党）に関して、その学歴、V4・イスラエルなどに対する見解を問題視して交代を要請、閣僚変更の意志はないとする首相と対立していたが、「早急な新政権発足の必要があると判断」（首相の発言）し、結局外相を含む全閣僚を任命することとなった。  
●バビシュ内閣は、コロナのワクチン接種を歯科医あるいは薬局の職員が行うことを可能とする法案を可決した。  
●内閣は、PCR検査手続きの簡素化を決定。これにより12月20日以降、職場での抗原検査で陽性が発覚した場合、雇用者がその旨をする確認書を作成すれば、それを基にPCR検査が受けられるようになり、医師によるPCR検査依頼状発行は無用となる。
- 上院は3種類のコロナ関連経済支援策を可決。
- 14日 ●チェコ産業連盟は2021年のGDP成長率予想を6月発表の3.5%から2.4%に下方修正した。来年については4.0%と予測している。  
●中銀によると、第3四半期の経常収支は767億コルナの赤字で、前年同期の846億コルナの黒字より大幅に減少した。第1～3四半期の合計では、152億コルナの黒字となっている。
- 16日 ●統計局によると、11月の工業部門の生産者価格は前年同期比13.5%増で、前月の11.6%から更に増大し、1993年のチェコ共和国成立以降最高の伸び率を記録した。  
●チェコ商工会議所は、チェコの来年のGDP成長率4.3%、実質賃金上昇率5.6%との予想を発表した。  
●シュコダ・オートの労組機関紙によると、同社は12月22日および23日に生産を停止、来年1月10日に生産再開する方針。長期停止は、親会社であるフォルクスワーゲンの意向および予定されている投資の実現のため、決定されたもの。  
●大統領は3種類のコロナ関連経済支援策導入（再開）を定めた法案に署名した。
- 17日 ●大統領は、フィアラ新内閣を任命。  
（詳細⇒  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/12/19b841eac4ce9bb0.html>)  
●日本の地方自治体が発行するワクチン接種証明書が、チェコでも認められるようになった。これにより日本のワクチン接種証明を持つ人は、観光目的であっても入国可能となる。
- 19日 ●フィアラ首相は、テレビのインタビューで、2035年以降EUの内燃エンジン

ン車の販売を禁止する方針に対して、  
チェコ政府は容認できないと述べた。

20日 ●欧州医薬品庁（EMA）は、米ノババックスが開発した新型コロナウイルスワクチンの18歳以上に対する使用を許可した。これでEUが承認するワクチンはこれで5例目となる。ノババックスはチェコ国内にも生産事業所を有する。チェコ科学アカデミー生物学センターのリボル・グルブホッフエル所長によると、チェコは既に接種37万回分を発注済み。

●自動車工業会によると、1～11月の国内乗用車生産台数は1,023,772台で、前年同期比2.9%減少した。但し11月単月では123,917台で、前年比5.9%増大した。1～11月の生産台数中66,453台がBEV、46,481台がプラグイン・ハイブリッドとなっている。